

●六戸でも「存続」多数 (09/16 18:48)

鉄道路線存続の危機に直面している十和田観光電鉄。六戸町できのう町民懇談会が開かれ、存続を求める声が大半を占めた。

懇談会には町民30人が集まり、十和田観光電鉄側が厳しい赤字経営の実情を説明した。

十和田観光電鉄は鉄道事業を続けるため、十和田市と三沢市、六戸町に今後10年間で5億2100万円の財政支援を求めている。

住民からは「無くなるなんて考えられない」とか、「高校生や高齢者のために無くさないで」などと、存続を求める声が大半を占めた。

沿線自治体への説明は全て終わったが、各議会は財政支援に否定的なのに対し、住民からは存続を求める声が相次いだ。

沿線自治体は協議のうえ、今月中に財政支援をするかどうか判断する。



 [動画を見る](#) >>>>>